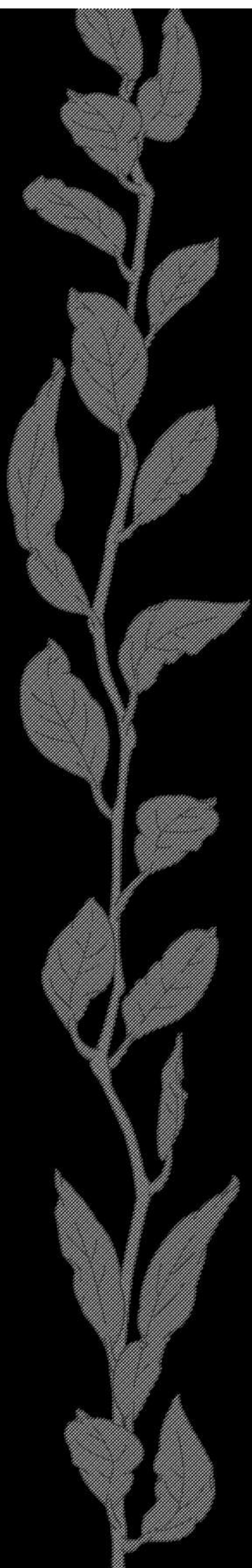


女体化した俺は、

叔父さんに……







おっぱい

ミニミニ

ミニミニ

……はい

……  
勇治叔父さん!!

……誰だ?

……?  
俺の名前  
なんて  
知って……

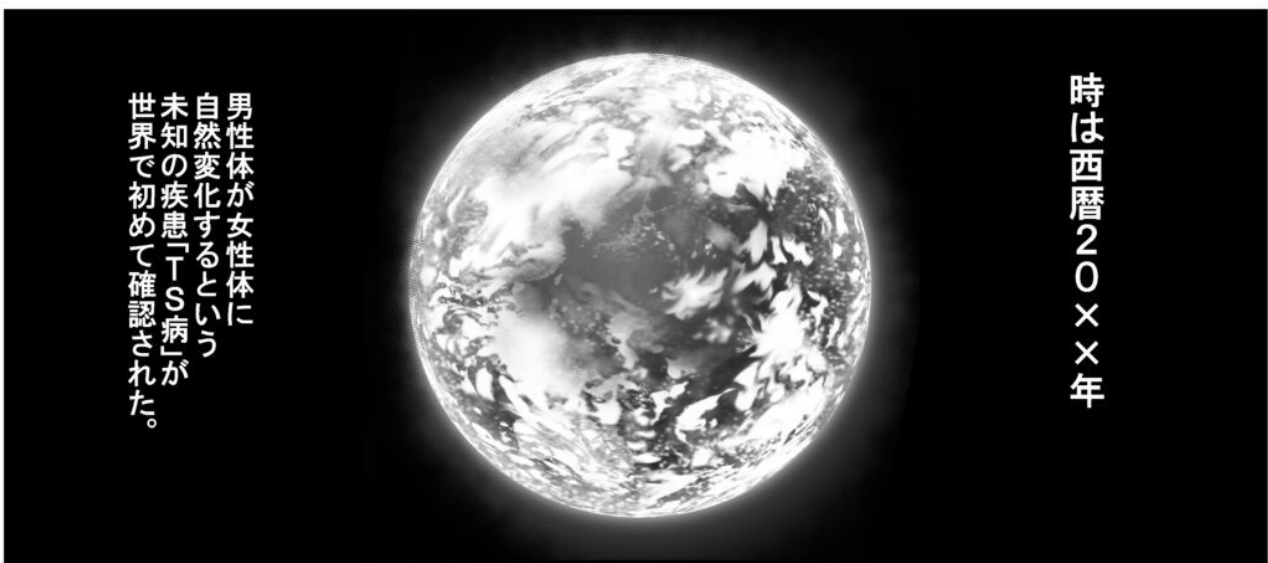
俺っ……  
俺を……



俺をしばらく  
この家に  
泊めて…っ!!

もよお  
ブーン

もよお  
ブーン



時は西暦20XX年

男性体が女性体に  
自然変化するという  
未知の疾患「T-S病」が  
世界で初めて確認された。

一例を皮切りにして、  
満20歳未満の男子に  
ごく稀に発症するようになった  
その疾患は原因も治療法も  
未だに不明

性転換以外の  
健康面の問題は見られず、  
成熟すれば出産も可能なほど  
肉体が仕上がることから

罹患した者には  
本人の強い希望がない限り  
女性として生きることを  
国は推奨している…

じゃあ……

ちよこん…

つまりお前は  
TS病…とかいうので  
女になった  
甥っ子の純…なんだな

……言いたいことは  
色々があるが

親には言っ  
てここに  
来てるんだらうな

……  
言っていない

〇〇学園学生証

高峰 純

JUN TAKAMI NE







バイトで貯めてた  
お金持ってきたから  
生活費とかも払うし!

面倒なんて：  
もう高校生なんだから  
見なくていいよ

むしろ家事とか  
飯の支度とかするし!

.....



昔と違って：陽子：  
お前の叔母さんが  
亡くなってから  
男一人で生活してるんだ  
仕事で遅くなる日もある：  
お前の面倒を見てやれるか  
わからない



.....お前の家族と  
血縁関係があったのは  
陽子の方だから  
正確に言えば  
俺はもう叔父じゃない

血縁？  
そんなの：  
.....



そんなのがあったって：  
今は自分の家に帰れない



なあ  
お願い：  
.....

あの頃みたいにさ：  
夏の間だけでいいんだ

頼むよ  
叔父さん

俺っ.....



叔父さんしか  
信頼できる大人が  
いないんだっ……!!



とりあえず  
家に電話  
入れてからだ

……  
わかった……







実家と違って  
ここなら  
考えずにいられる

こんなに  
変わってしまった

体のことなんか…

叔父さんとの  
生活は  
快適だった。



言っていたとおり  
家は少し手狭だけど  
寝る部屋は別々だから  
気にならないし

叔父さんが  
働きに出てる間は  
自由に過ごせる

WiFiが無いのは  
少し堪えたけど  
余計な情報から遮断されて  
かえって良かった

仕事の連絡  
以外で  
使わない?  
動画見ると  
Wi-Fi  
ないの?!

オヤスミ〜  
寝室  
居間  
K  
1DK



そして何より

純  
今度の休み  
昔よく行ってた  
溪流まで行ってみるか？



叔父さんは  
あの頃と同じように  
接してくれた



この苦みすけ  
面白い、知ってた？  
M1で優勝した  
あ、  
たしから  
面白い

叔父さんは  
やっぱり尊敬できる  
大人だ

叔父さんが本当の親  
だったらよかったと  
何度も空想した……



うおまげー  
魚まげーだ

母親みたいに  
女らしさを  
強要してこない  
父親みたいに  
無関心でもない

同級生みたいに  
俺を女扱いして  
仲間はズレにしない

膨らんだ胸を  
凝視したりしない

そんなある日、それは起こった。

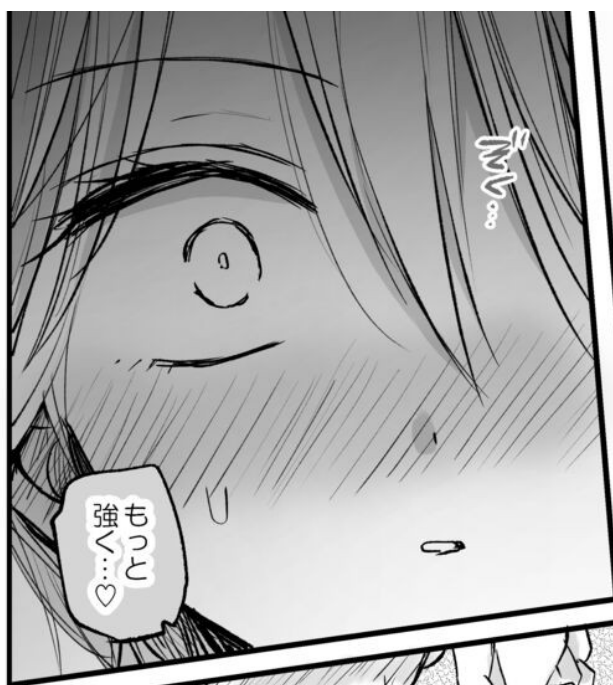




この日  
見る気になったのは  
真面目な叔父が  
どういうモノで  
抜いてるのかという  
好奇心に助けられた  
からだ



……あっ♡







俺  
なにやってんだろ

ん  
ん  
ん

ほ

ほ

あ

ほ  
ん

女の体を  
受け入れられなくて

ここまで  
来たのに……

しゅ  
ん

しゅ  
ん

人の家で

女オナニーして  
気持ちよくなって……

手が止まらない

あ  
あ  
あ

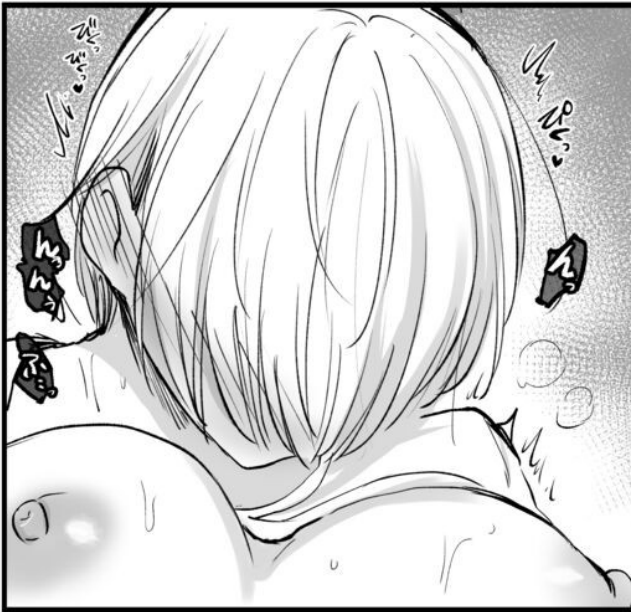
ん  
ん  
ん



奥さん  
初めはイヤイヤ  
言ってたのに  
すっかり色情狂いの  
淫乱女だな

まんこ  
ビシャビシャにして  
恥ずかしくねえのか？

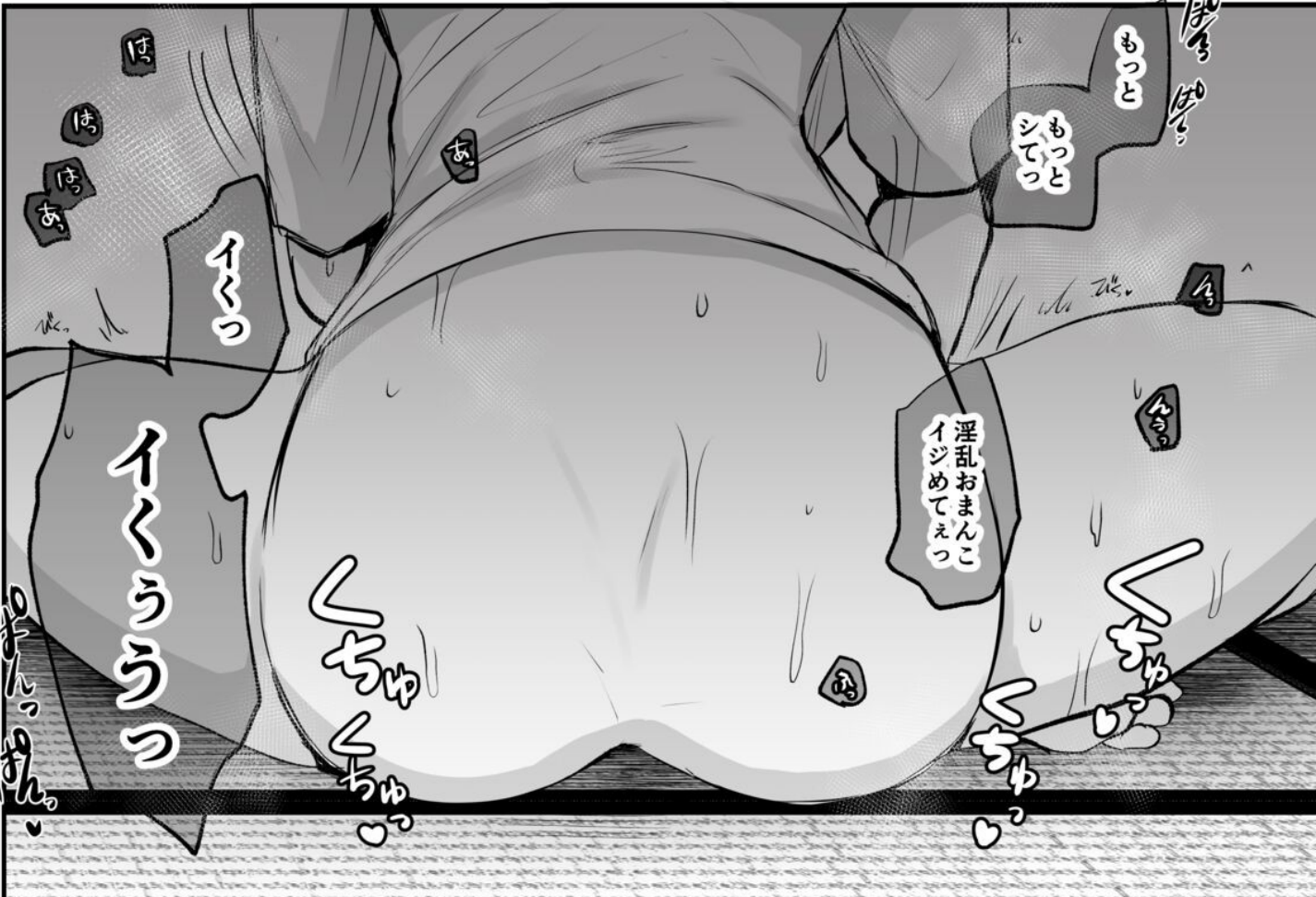
ほんっ  
ほんっ  
ほんっ



だって…だって  
気持ちよすぎる…  
こんなにおまんこ  
気持ち良かったら  
逆らえない…っ

メスイキ気持ちよすぎて  
辞められないのおおっ  
あっあああっ…

ほんっ  
ほんっ  
ほんっ  
ほんっ



淫乱おまんこ  
イジめてえっ

イクっ  
イクっ  
イクっ  
イクっ

くちゅ  
くちゅ  
くちゅ  
くちゅ

くちゅ  
くちゅ  
くちゅ  
くちゅ

もっど  
もっど  
もっど

くちゅ  
くちゅ  
くちゅ  
くちゅ







すんなり挿入っちゃった  
……

すっ……

あ  
あ



あっあっGスポットと  
クリの同時責め  
すごおい

んっ  
んっ

指入れていると  
ナカから愛液が  
いっぱい溢れてくるのが  
わかる……



ざらざらした壁……  
ここがGスポット……かな？

女の子が  
ナカで感じる場所……

んんっ気持ちいかも……  
じんじん痺れて……  
足の力抜けちゃう……

あ  
あ



来る

来る

来  
ち  
や  
う  
ッ



あ  
ん  
ん

あ  
ん  
ん  
あ  
ん  
ん  
あ  
ん  
ん

あ  
ん  
ん  
あ  
ん  
ん





まだ飯の準備  
できてないんだ

叔父さん  
ごめん！  
ちょっと  
寝ちゃってて…



今から急いで  
作るから…

……  
や……



……おかえり!!



今日は外に  
食べに行こう

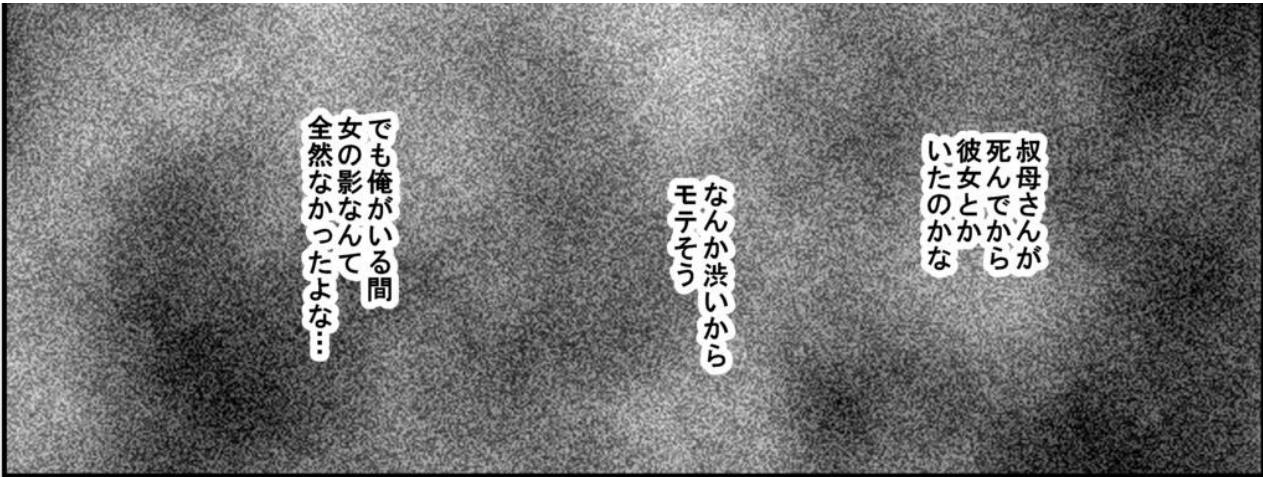
え？

作るけど  
……

いいから  
準備しなさい

へー  
ほ…





暴走した性欲が  
そっさせてるのだろうか



上がったぞ



冷めないうちに  
次入りなさい

あ  
ああ



…うん



叔父さん

あれは  
チンコでかいな……

いや駄目だ  
こんな思考

やめなげや……

やめなげや  
なのに……

理想の大人としか  
思っていなかった  
叔父さんのことが

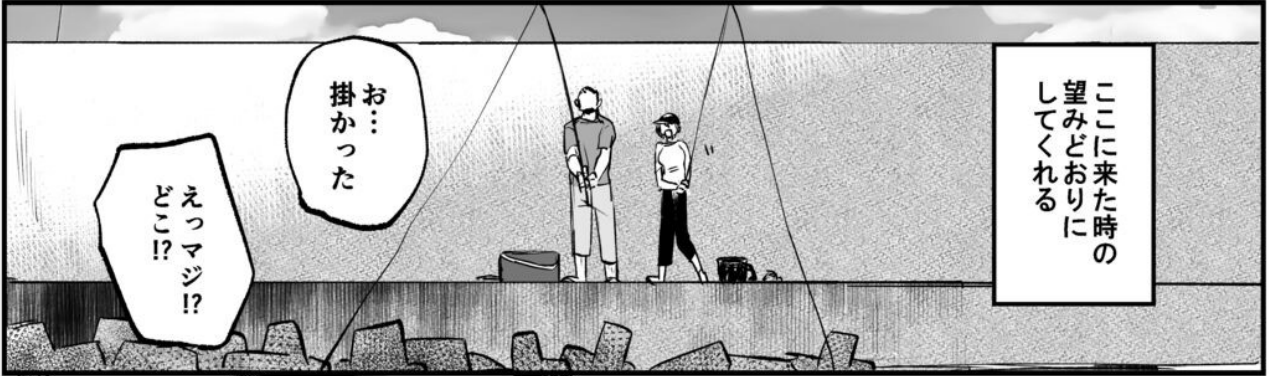
気になる……



休日は  
買い物や遊び場に  
連れて行ってくれる



叔父さんは  
平日は淡々と  
仕事に行き



ここに来た時の  
望みどおりに  
してくれる

お：  
掛かった

えっマジ!?  
どこ!?





あ、全然...  
ほっ

変わらないものを  
求めてここに来たのに



すまない



AVをおかず  
女の快楽を追いかけて

ものを飲み込むのに  
慣れた女性器を  
毎日いじり倒して

おっ...  
おっ...

そうであって  
ほしい...

もしこれが  
ペニスならどれくらい  
気持ちいいのか  
想像している

優しい叔父さんすら  
性欲の対象にしている



もう  
減茶苦茶だ

TS病って淫乱化の  
作用もあるのかな...

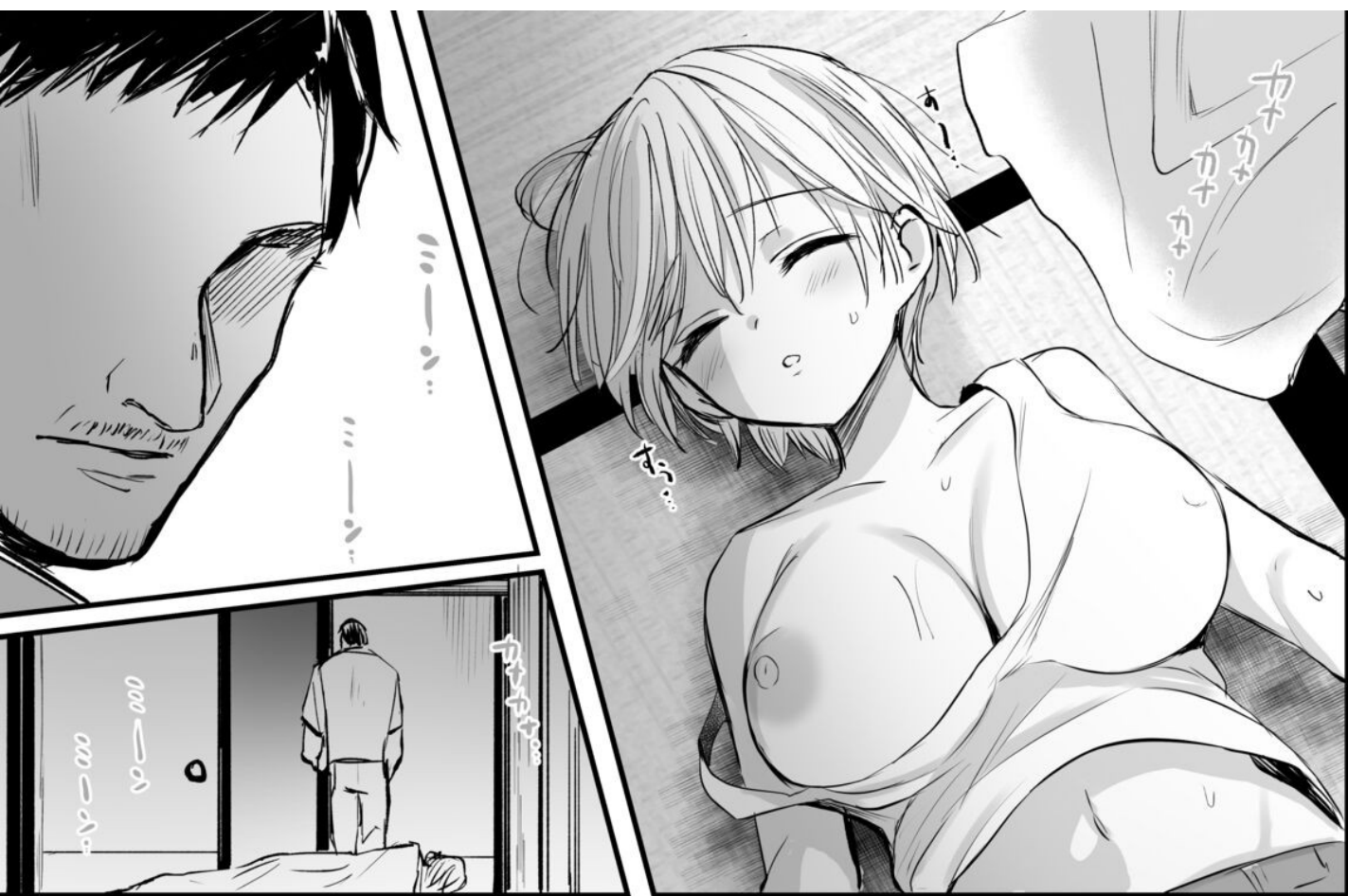
おっ...  
おっ...  
おっ...  
おっ...

とっくにどうしようも  
なくなっていたけれど

どうすべきなのか  
分からないまま

浅ましい  
欲望だけがどンドン  
膨らんでいく…

ただいま…



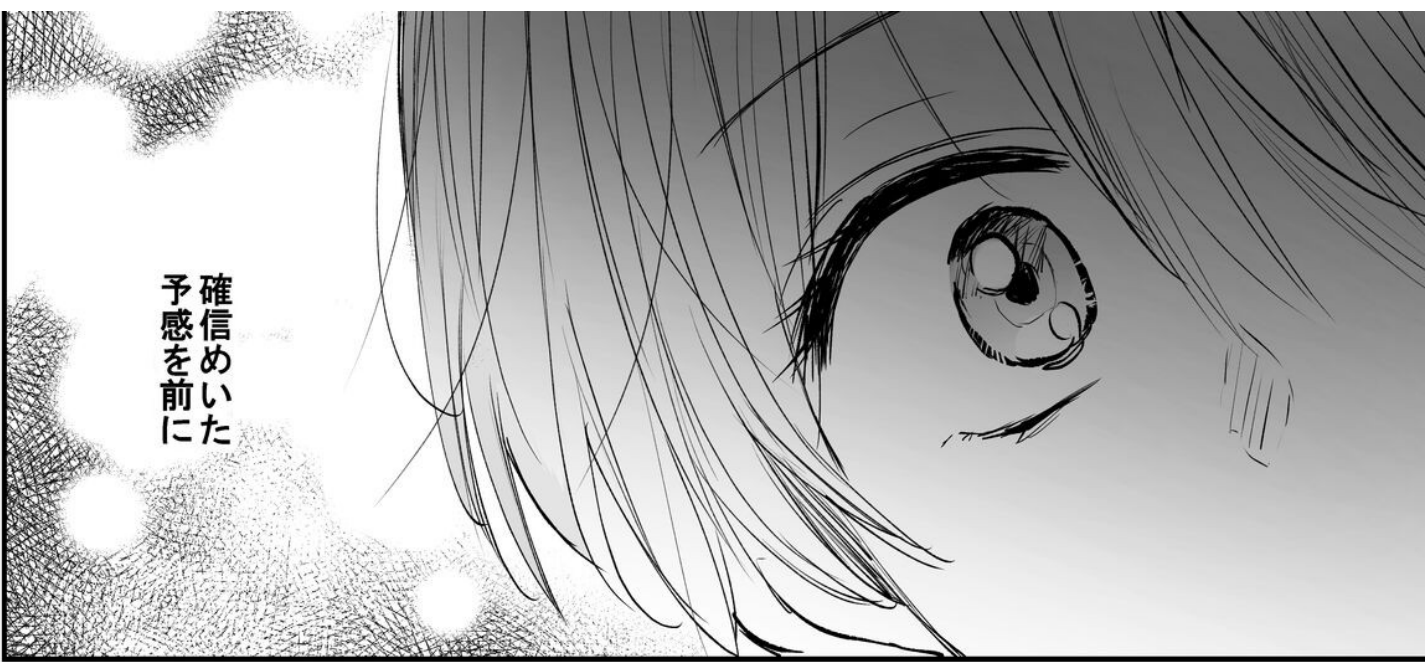
もし…  
気付かなければ、  
言わなければ…

夏の終わりを  
待たずに家に帰って  
いたかもしれない

でも  
今の俺は

こんな風  
だったから……





確信めいた  
予感を前に



止まることが  
できなかつた……



……  
叔父さん……

……  
!





ドクン

っ、使って…

お世話に

ドクン

なってるし…



あれはもう  
いいのか…

……女であることを  
受け入れられないって  
言ってるた



……  
うん……



た

ドクン

ドクン

……濡れしてる……  
なり……

……  
この体





何コレ

何コレッ...

一人でやるのと  
全然違うっ

快感が次から次に  
押しよせて  
制御できないっ...

あゝあゝ

あゝあゝ

きゅん

きゅん

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

うんっ...  
いっばい

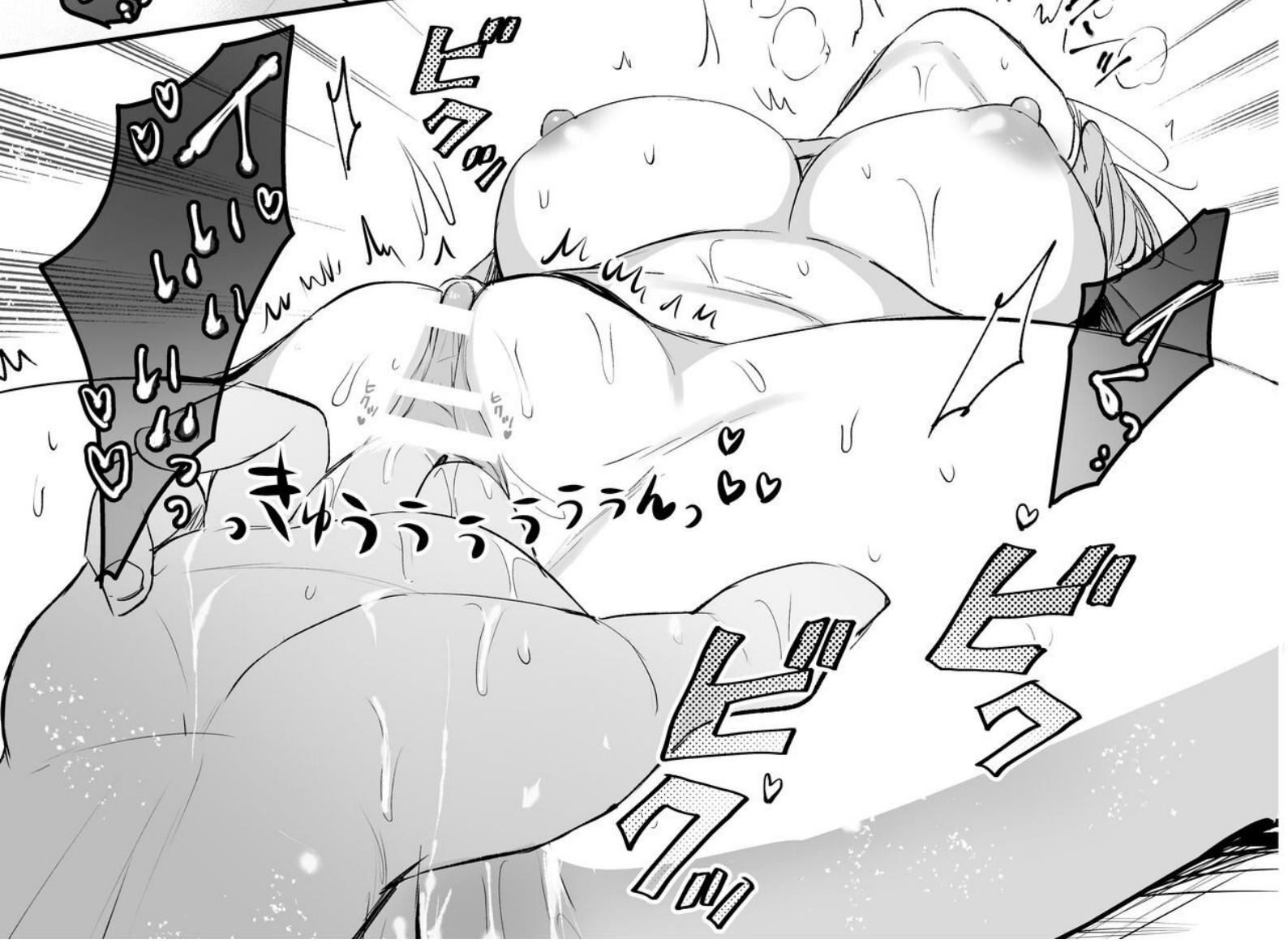
ずいぶん  
挿れやすいが  
自分で  
広げたのか?

いっばい  
広げたっ  
あっ...

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

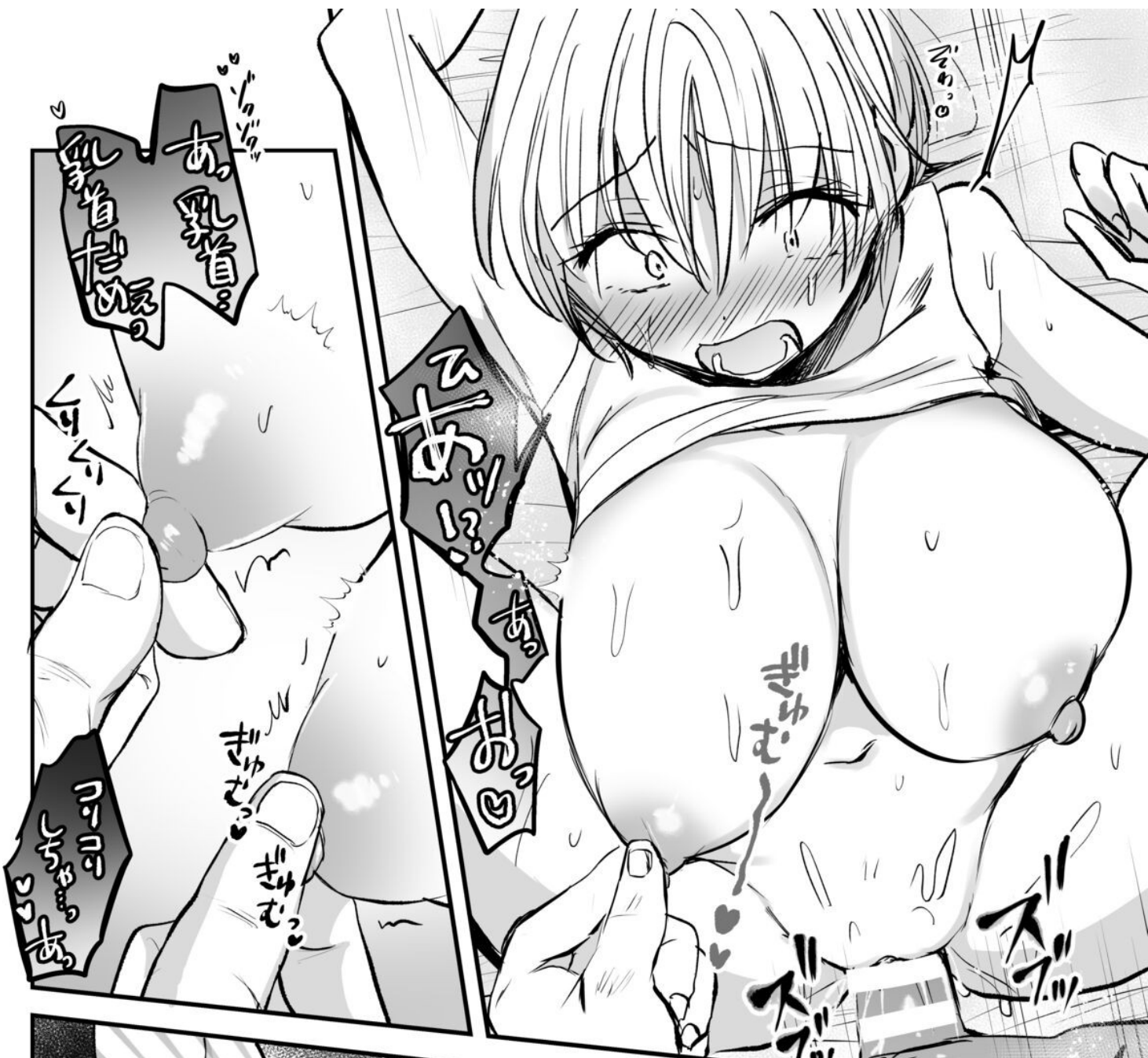




























汗と色んな体液で、  
身体中ぬちよぬちよで

あははは

ああ

んっ

んっ...  
叔父さんまた来る...  
来ちゃうっ...

絶頂から  
体が戻ってこれなくて  
軽イキを繰り返してる

あははは



もう  
戻れない



叔父さんの精液  
ナカに出して



一緒に  
いきたい...

叔父さん...

なんだ

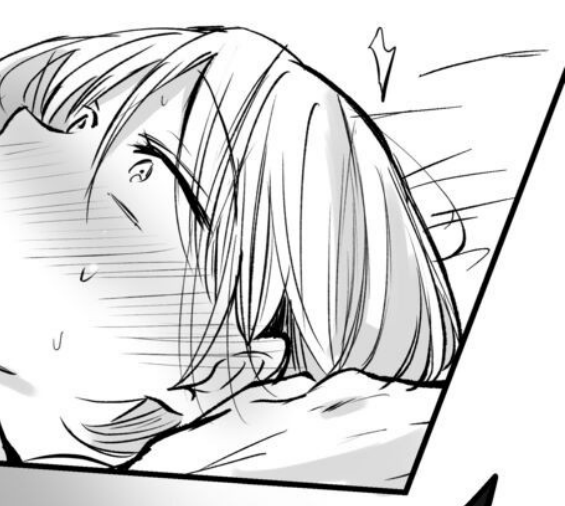


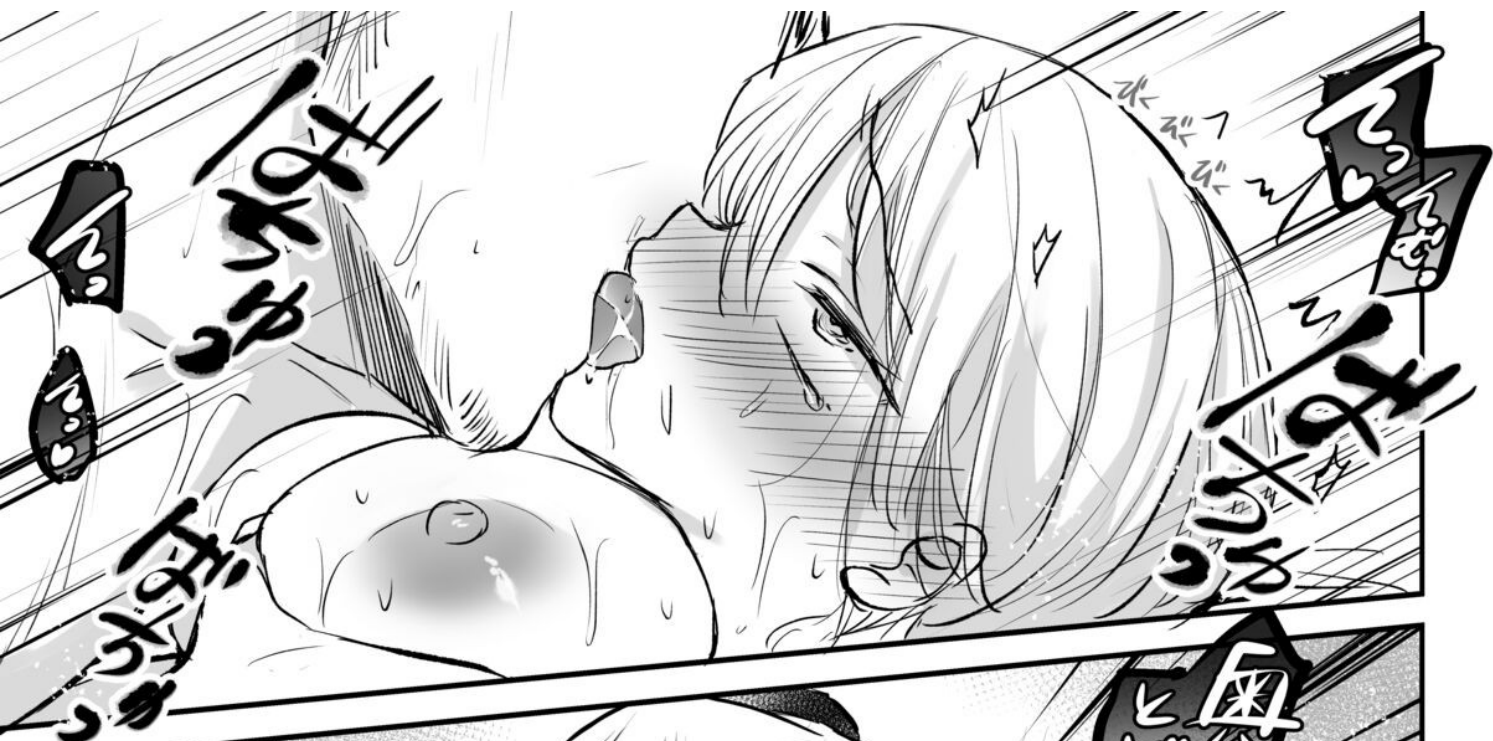
俺  
まだ身体  
子供とか  
できない...から



おまんこの

奥に注いで  
.....







おはよう

イェ

おはよう

おはよう

おはよう

ガクガク

ガクガク

おはよう

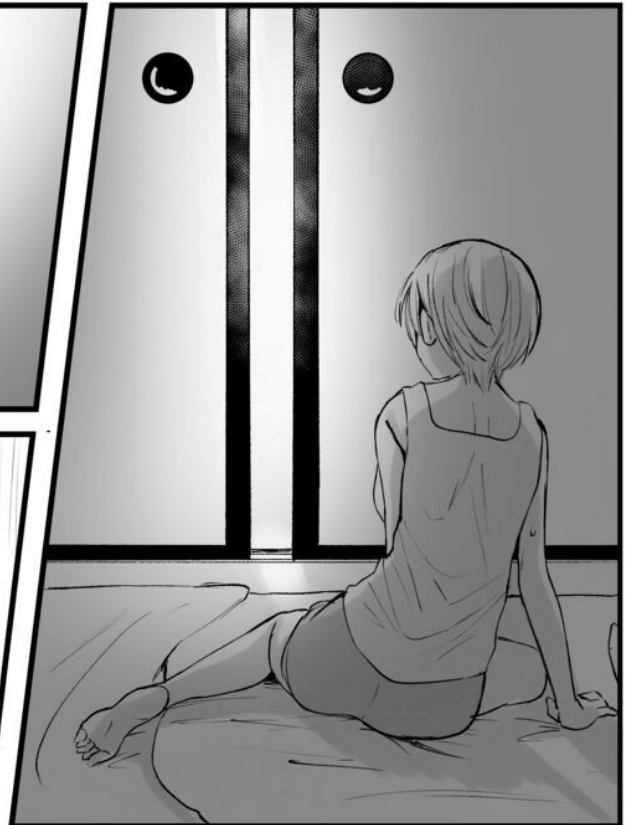
おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう





おまえの  
信頼できる大人で

……  
いてやれなくて

すまなかった



何言って……  
誘ったの  
俺なんだから……

陽子が亡くなって以来  
孤独だったから  
頼られて嬉しかった

危うい甥っ子の  
力になってやりたいと  
思った

一緒に暮らすうちに……  
お前が「女になった自分」に  
目覚めていったことに  
気付いていった

本当は  
そこで親元へ  
返すべきだった……



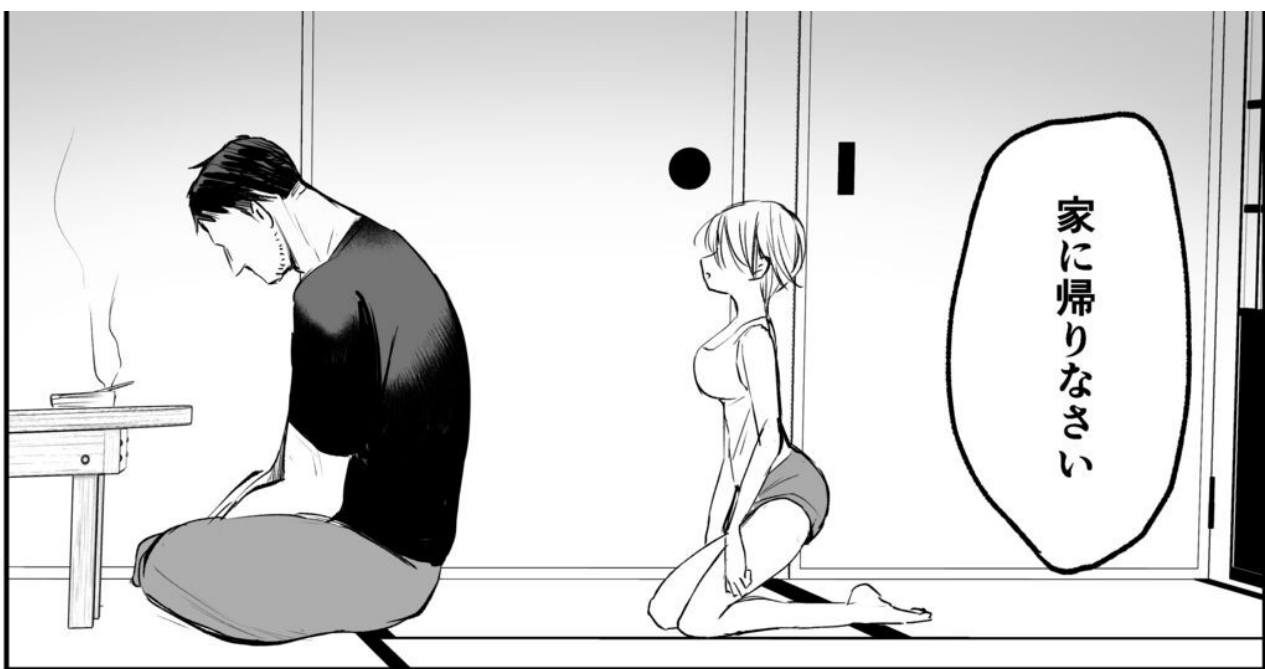


手放すのが惜しくて…  
先延ばしに  
してしまったのは  
俺のエゴだ

俺は  
結局自分の欲を  
優先して…

保護者に  
徹することが  
出来なかった





家に帰りなさい



…情けないことに



俺は後先のことを  
なんにも  
考えてなかった

性欲に突き動かされ  
ながら漠然と

叔父さんなら  
受け入れてくれると  
思っていた



俺はこの時  
はじめて

「叔父さん」を

「ひとりの男の人」  
だと認識した…



欲しいものを  
きつと全部

…  
与えてくれると



…「手放すのが  
惜しかった」なら

そうしなけりゃ  
いいんだ…



叔父さん……

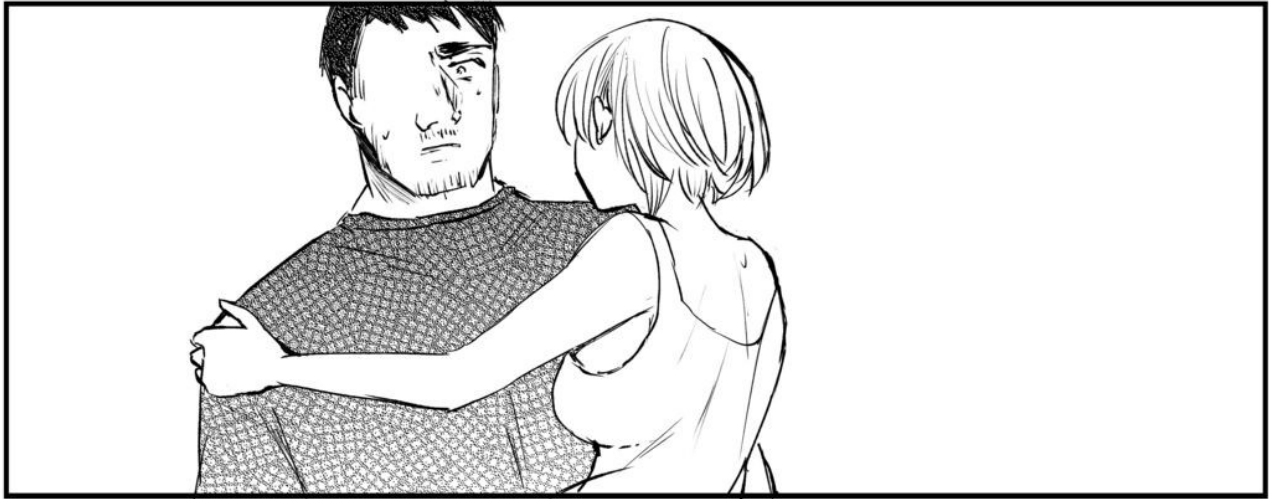


純

駄目だ……



……叔父さん  
こっち向いて



でも  
気に病むことなんて  
ないんだ

さっきも言ったけど  
この身体はまだ  
未完成だから  
いくらシタって  
子供もできない

男だった私と  
叔父さんが  
セックスしてるなんて  
親も誰も思わない



秘密にしていれば  
全部なかったことと  
同じになる

お互いが  
望んだことなら



叔父さん  
ごめんなさい

私が  
悪かった

軽い気持ちで…  
叔父さんを傷つけた

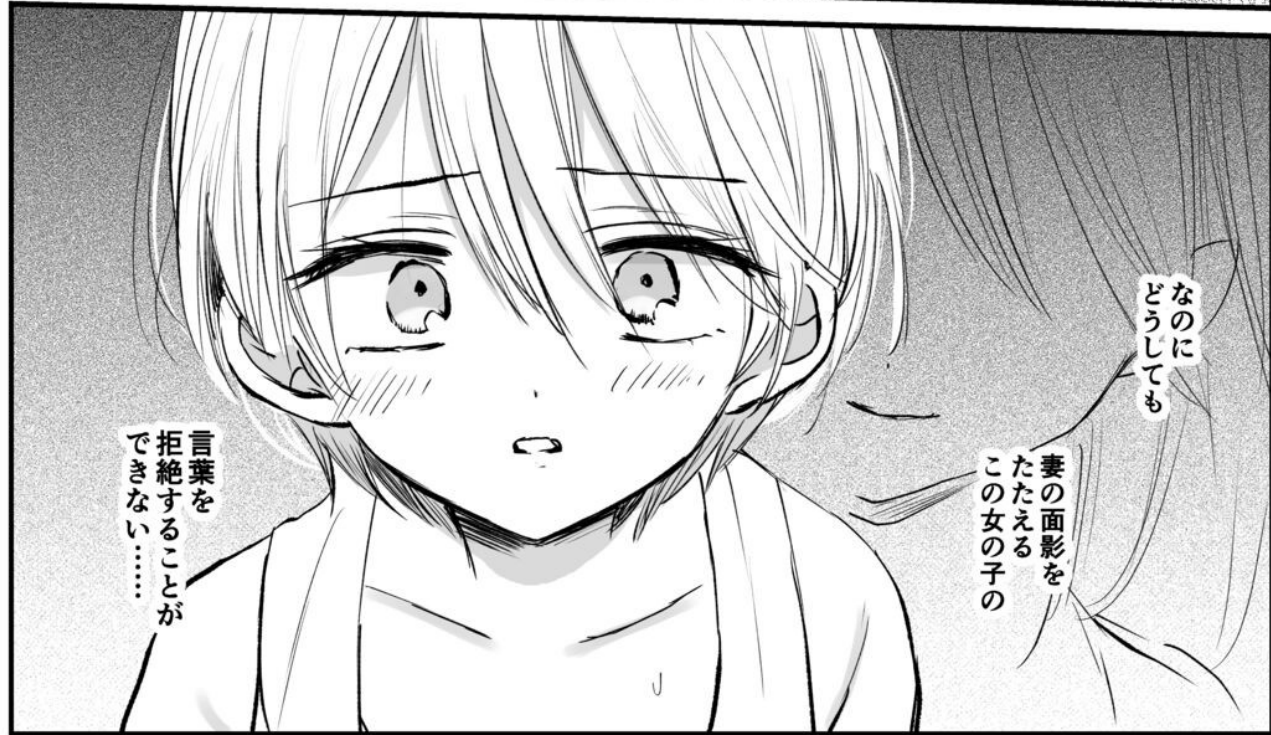


私をまだ  
ここに居させて  
……



絶対に  
よくない  
純のために  
ならない

駄目だ



言葉を  
拒絶する  
ことが  
できない……

なのにも  
どうしても  
妻の面影を  
たたえる  
この女の子の

もう  
減茶苦茶だ…

翌朝テレビをつけると、  
昨晩は記録的な  
熱帯夜だったと  
ニュースキャスターが  
告げていた

それを無言で聞きながら、  
叔父さんも私も  
いつものように  
朝ごはんを食べた

今夏の猛暑は  
まだまだ  
続くらしかった

2022/9

手打私青，2411a'

👤 @emiliopan2

✉ emiliopanda123

@gmail.com

